

新規就農先輩の軌跡 No.17

新規就農者の素顔	農業経営の状況（現在）
<p>氏名：石田英也（いしだ ひでや）                      住所：三木市吉川町長谷                      年齢：31 歳</p> 	<p>農地：170a（借地 20a）                      施設：パイプハウス 2,000 m<sup>2</sup>                      経営内容：経営主                          水稲 120a                          ぶどう 50a                      労働力：本人、妻、父                      出荷先：観光ぶどう園、直売所</p>   <p>ぶどうハウスの状況</p>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p>
<p>2002 年 就農                      2005 年 長谷生産組合 会計                      2009 年 経営移譲                          パイプハウス（ぶどう）建設                      現在に至る。</p>	<p>○良かった点                      自分で時間の調整が出来るので育児等が協力して行える。                      ○苦労した点                      家族経営のため家族と過ごせる時間は増えるが、仕事では各々の主張がぶつかり合う事が多く、ストレスがたまる事もある。</p>
<p>農業をめざした動機</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>学生の頃は一般企業への就職を考えていたが、実家の農業を手伝っていた祖父が体調を崩して以降、父親からの誘いを受け悩みに悩んだ末就農を決意した。</p>	<p>はっきりいって農業は甘くないです。                      ただ努力とやり方次第ではすごく魅力的な仕事になると思います。                      それから家族の理解が大切です。                      とりわけ奥さんを大事にしてください…。</p>